

日本産酒類の輸出促進に関する ジェトロの主な取り組み

日本貿易振興機構(ジェトロ)
平成30年4月11日

JETRO

ジェトロの日本産酒類の輸出促進に関する取り組み方針

「日本産酒類の輸出促進に向けた課題及び対応方針」の（１）情報発信の強化、（２）効果的な販路開拓・市場拡大、（３）人材の育成について、以下のとおり実施する。

（１）情報発信の強化

- ・ 関連機関・業界団体等と連携してインフルエンサー等に対して情報提供を行う。

（２）効果的な販路開拓・市場拡大

- ・ 日本産酒類を対象に、輸出上位国、輸出単価が高い国等において有力な酒類専門見本市への出展、海外商談会の開催や海外バイヤーの招へい等により、国内事業者が海外バイヤーとの商談機会を提供する。
- ・ 日本産酒類の輸出促進を推進する関係省庁と連携して事業を実施する。
- ・ 関連機関・業界団体等とも連携して事業を実施する。
（全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会、日本酒造組合中央会 等）
- ・ 国内事業者が効果的な販路開拓が実現できるように、海外市場・規制等についてセミナー等による情報提供を行う他、個別企業の輸出の取り組みを専門家等により支援する。
- ・ 官民が一体となって海外展開を進める琉球泡盛について、国内事業者の輸出を支援する。

（３）人材の育成

- ・ 日本産酒類の中で輸出金額、事業者数が多い日本酒について、今後市場拡大が見込める先進国の未開拓地域や新興国等において、バイヤー等向けにセミナーを実施する。
- ・ 日本産酒類の中で輸出金額が十分に伸びていない焼酎について、年平均伸び率が高い米国において、現地関係者による協議会で輸出課題や販路拡大方法等を協議する。

世界的なワインコンペティションにあわせて日本産酒類プロモーションを実施 (『WABI (和美)』 ロンドン 2017年7月)

- 英国・ロンドンで行われた世界的なワインコンペティション「International Wine Challenge (以下、IWC) 2017」授賞式にあわせて開催された日本食・文化に関する展示商談会「WABI (和美)」に、国税庁と共に日本産酒類プロモーションブースを運営。
- 非日系市場開拓を目指し、現地のワイン関係者、日本食以外のレストラン関係者などに売り込みを行った。

<概要>

「WABI (和美)」

- ・日時：2017年7月7日(金)～8日(土)
(ビジネス向け 7月7日、一般消費者向け 7月7日、7月8日)
- ・場所：英国・ロンドン「リンドリーホール」
- ・主催：William Reed Business Media Ltd.
- ・規模：875㎡、34社・団体
- ・対象：日本食品・飲料(酒類含む)、文化紹介 等
- ・来場者：1,474人(ビジネス430人、一般1,044人)

「日本産酒類プロモーションブース」

- ・共催：国税庁、ジェトロ
- ・規模：72㎡
- ・出展者：13社(日本酒、ワイン、リキュール、流通等)
- ・人気があった商品：熟成梅酒、スパークリング日本酒、ロゼワイン
抹茶リキュール、柚子リキュール 等



(WABI会場風景)



(日本産酒類プロモーションブース)

Hong Kong International Wine & Spirits Fair 2017 (香港 2017年11月)

- 香港にて開催されたアジア最大級の酒類専門見本市「Hong Kong International Wine & Spirits Fair 2017」に、**ジャパンパビリオン**を設置。
(ジェトロは2012年に初出展。今回で6年連続6回目の出展。)
- 日本の酒類の魅力を国際的にアピールするとともに、香港市場への新規参入・販路拡大を目指す我が国企業等を支援。

<見本市概要>

見本市名：Hong Kong International Wine & Spirits Fair 2017

開催期間：2017年11月9日(木)～11日(土)

会場：香港コンベンション&エキシビションセンター

主催：香港貿易発展局

<ジャパンパビリオン概要>

主催：ジェトロ 農林水産省補助事業

参加日程：2017年11月9日(木)～11日(土)

規模：189㎡、21小間(9㎡/小間)

参加企業：22社・団体

対象：日本酒、焼酎、ワイン、ウィスキー、リキュール



(ジャパンパビリオンの様子)

欧米アジアからの日本酒バイヤーとの意見交換会を開催

○ 一般社団法人全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会（以下、全米輸）による欧米アジア8カ国からの日本酒のバイヤー招聘事業実施に際して、海外バイヤーの推薦、海外バイヤーと全米輸会員企業との意見交換会等の開催に協力。

<概要>

- ・ 招聘期間：2018年2月4日（日）～8日（木）
- ・ 招聘バイヤー：欧州（英国、スペイン、フランス、イタリア）、北米（米国、カナダ）アジア（シンガポール、香港）から19社23名
- ・ 内容
 - 東京（ジェットロ）にて全体のオリエンテーション、全米輸会員企業との意見交換会。
 - 蔵元訪問・視察、日本酒関係施設訪問
 - 海外バイヤーと全米輸会員企業との意見交換会<佐賀、神戸>
 - 海外バイヤーと各県の輸出促進協議会・団体等の交流会<佐賀、神戸、長野、広島>



東京(ジェットロ)でのオリエンテーション・意見交換会



神戸での意見交換会

欧米からのインフルエンサーに対して泡盛カクテルの魅力を紹介

- 日本酒造組合中央会が米国と英国から蒸留酒・カクテル分野のインフルエンサーを沖縄に招へいする機会を捉え、カクテルベースとしても楽しめる泡盛の魅力を紹介する「泡盛カクテル・ティスティングイベント」を那覇市内のバーにて開催。

<概要>

- ・主 催：ジェット口沖縄、日本酒造組合中央会
- ・開催日：2017年10月28日（土）
- ・参加者：インフルエンサー3名（カクテルコンサルタント（米）、カクテルイベントPR編集長（米）、著名なバーオーナー（英））
沖縄県酒造組合、沖縄国税事務所、泡盛マイスター協会
- ・内 容： 泡盛マイスターによるミニレクチャー『カクテルベースとしての泡盛の魅力』
泡盛マイスターによる泡盛カクテル5種類のプレゼンテーション、試飲、意見交換
- ・成果例：米国最大規模のカクテルイベント「Tales of the Cocktail」のウェブサイトに、インフルエンサーが執筆した泡盛カクテル等のレポートが掲載。



泡盛カクテルを試飲するインフルエンサー



ゴーヤを用いた泡盛カクテル「58 KACHA-SEA」を紹介する泡盛マイスター

欧米アジアからのインフルエンサーに対して日本酒と日本食材を使用した西洋料理のペアリングを紹介

- 日本酒造組合中央会が欧米アジアからワイン専門誌記者などインフルエンサーを愛媛県・高知県に招聘する機会を捉え、高知県にて土佐酒の特徴と土佐酒と高知県の食材を使用した西洋料理とのペアリングを紹介するイベントを開催。

< 概要 >

- ・ 主催 : ジェトロ高知、日本酒造組合中央会
- ・ 開催日 : 2018年1月24日
- ・ 参加者 : インフルエンサー8名 (カナダ、米国、豪州、英国、フランス、シンガポールのワイン専門誌記者など)、高知県、高知県酒造組合
- ・ 内 容 : 吟醸系のさわやかな香りの3種、古酒、生酏、スパークリングの計6種類の日本酒の特徴と高知県食材を使用した西洋料理とのペアリングを紹介。



土佐酒を試飲しながら講師によるペアリングの説明を受けるインフルエンサー

北米（米国、カナダ）、東欧3カ国で日本酒セミナー・商談会を開催

○ 米国の中で日本酒の認知度が東西海岸地域に比べて低い中西部のシカゴ、日本酒の輸出が近年増えているカナダのトロント、日本酒がまだあまり飲まれていないが今後の市場拡大が期待できる東欧の三都市にて、日本酒についてのセミナーと商談会を開催。

北米	欧州
シカゴ・トロントSakeプロモーションウィーク 2017 ・日程：9月22日～29日	東欧での日本酒セミナー＆商談会 (ルーマニア・チェコ・スロバキア) ・日程：10月11日～13日
9月22日 在シカゴ日本総領事館での日本食・ 日本酒プロモーションイベント 2社参加	10月11日 ブカレスト 4社参加
9月25日 シカゴ日本酒関連市場視察	10月12日 プラハ 5社参加
9月26日 日本酒セミナー＆商談会(シカゴ) 13社参加	10月13日 プラチスラバ 4社参加
9月28日 日本酒商談会(トロント) 6社参加	プラハでは 日本酒のドキュメンタリー映画 「KAMPAI! FOR THE LOVE OF SAKE」 を商談会前に上映。
9月29日 トロント日本酒市場視察	



日本酒セミナーの様子(シカゴ)



日本酒商談会の様子(シカゴ)



日本酒商談会の様子(ブカレスト)

- 経済成長著しいミャンマーにおいて、日本酒輸出協会によるミッション派遣の機会を捉え、ミャンマーのレストラン・ホテル関係者を対象に、日本酒の基礎的知識、飲み方について理解してもらうためのセミナー・試飲商談会を開催。

< 第1回 >

- ・ 開催日：2017年5月16日～17日
- ・ 参加企業：日本酒輸出協会会員企業4社
- ・ 来場者：ミャンマーのレストラン、ホテル関係者など77社

< 第2回 >

- ・ 開催日：2018年2月27日～28日
- ・ 参加企業：日本酒輸出協会会員企業10社
- ・ 対象：ミャンマーのレストラン、ホテル関係者など



(セミナーの様子)



(試飲商談会の様子)

「焼酎輸出促進協議会 in ロサンゼルス」を立ち上げ

- 焼酎の知名度向上や輸出に関わる課題抽出や問題解決への取組み、日本国内の蔵元の海外展開促進等に向け、官民一体によるオールジャパン体制で取り組むため、ロサンゼルスにおいて現地関係者をメンバーとする「焼酎輸出促進協議会in LA」を設立。

<概要>

- メンバー：政府機関、日系食品商社、有識者、県人会の関係者11名
事務局：ジェットロLA事務所
 - 内容：焼酎の知名度向上 焼酎輸出の課題共有及び問題解決 関係者間の連携促進
 - 頻度：年3回（第1回：8月3日 第2回：11月16日 第3回：3月23日）
- 第1回会合を2017年8月3日に開催、同日夕刻に、在ロサンゼルス日本総領事公邸にて地元の飲食店関係者やインポーター、ディストリビューター、メディアやハリウッド関係者らを招待し試飲交流会を開催。



交流会の様子



試飲の様子

アジア最大級の食品見本市FOODEX JAPAN 2018に合わせて招聘した海外バイヤー34社38名に対し、泡盛を紹介するとともに、商談を支援。

- 3月6～9日のFOODEX JAPANに合わせ、ジェトロは海外バイヤーとの食品輸出商談会を8～9日に開催。
- 招聘バイヤーは、北米、南米、欧州、アジア、オセアニア、中東、アフリカ等の日本食品関連企業（輸入卸売業・小売業等）34社38名。
- 招聘バイヤーに対して、3月7日オリエンテーション時に酒造組合作成のリーフレット「本格焼酎 泡盛」を配布し、泡盛ブースを案内。
- また同日の視察型商談で、2社との泡盛の成約見込み（バイヤー報告）の報告があった。
 - ・フランスバイヤー（泡盛）
 - ・オーストラリアバイヤー（シークワサーの泡盛）



FOODEX泡盛ブースの様子



泡盛の品ぞろえ

地方創生への貢献

自治体や関係機関と連携し、ジェトロの商談事業等を効果的に活用し、成功事例の創出に取り組む「一県一支援プログラム」を2013年度から実施。（2018年度は調整中）

- ・2013年度～2015年度：秋田県（日本酒）、福井県（日本酒）、鹿児島県（黒糖焼酎）
- ・2016年度～2017年度：広島県（日本酒）、宮崎県（本格焼酎）

地域単位での支援に取り組むパイロットプロジェクトの「地域貢献プロジェクト」を支援。

- ・『地域資源を活用した九州の酒類（焼酎・日本酒等）の海外プロモーション』（2015年度～）
- ・『伏見SAKEツーリズムプロジェクト』（2017年度～）
- ・『東北・北海道とルクセンブルクの果実酒産業交流』

海外市場等の情報提供

日本産酒類の輸出の現状や海外市場等に関するセミナーを、2018年度は11都市で開催予定（日程調整中）。

宮城、栃木、静岡、京都、鳥取、島根、愛媛、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

現地規制等の情報提供

現地市場の状況を知るための「マーケット情報」、輸出する際に知っておくべき現地規則や流通イメージを得るための「輸出の留意点」、初めて輸出する方からよく聞かれる質問をまとめたQ&Aなどを掲載した、輸出ハンドブックを改訂。

- 『日本酒輸出ハンドブック』（改訂）
香港、韓国、台湾、中国、米国
- （新規）
カナダ
『焼酎・泡盛輸出ハンドブック』
中国、タイ



個別事業者への支援サービス

「新輸出大国コンソーシアム」専門家が、海外展開を図る中堅・中小企業等が抱えている課題の解決等を訪問やE-mail等を通じて支援。【95社支援】
輸出有望産品を有する企業を専門家が、輸出戦略の策定から契約締結まで一貫して支援。【4社支援】
（事前審査あり）

支援企業数は2018年3月末時点